

問い合わせ先：広報グループ
(TEL: 03-5350-4632)

ストレスの原因に関するグローバル調査 生活資金と自分へのプレッシャーが深刻なストレス原因のトップ2

GfKは22の国と地域で27,000人に対し日常生活のストレス原因について調査を実施し、その結果を発表しました。

【概要】

- ・グローバルでは3割が「生活資金」に関する問題が深刻なストレスの原因と感じる。
- ・日本では「生活資金」を深刻なストレスの原因としたのは22%、40歳代ではその割合は28%に上昇。

22の国と地域の27,000人に、健康、生活、家族等の14の項目について日々の生活でどれくらいストレスの原因となっているかを尋ねました。その結果、グローバル(22の国と地域)において、最も多くの人々が深刻なストレス原因として挙げたのは、「生活資金」でその割合は29%にのびました。これに次ぎ、「自分自身にかかるプレッシャー」では27%、「睡眠不足」では23%、「やりたいことをする時間が取れないこと」では22%が深刻なストレスの原因となっていると回答しました。

深刻なストレスの原因は年代によって顕著に異なり、15-19歳および20歳代では「自分自身にかかるプレッシャー」が最も多く挙げられたのに対し、30歳代以降では「生活資金」となりました。さらに、国、地域ごとによっても違いが見られました。「犯罪の被害に遭う恐れ」を深刻なストレスの原因を挙げた人は、グローバルでは14%にとどまりましたが、ラテンアメリカの国々では、アルゼンチン41%、ブラジル39%、メキシコ36%と高く、いずれの国でもトップ5の原因となりました。また、「子供」についてみると、グローバルでは14%にとどまりましたが、トルコでは31%、フランスでは30%にのびました。

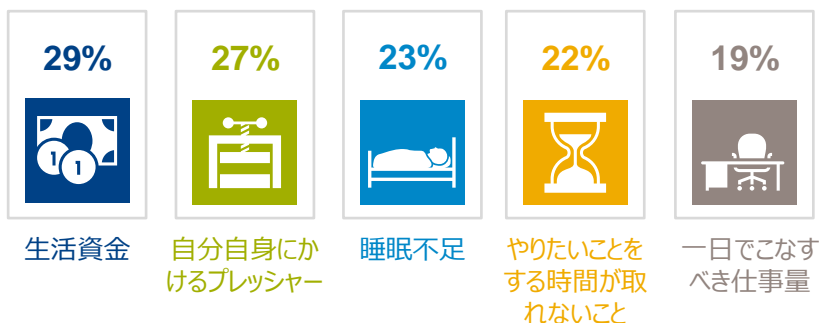
日本の状況を見ると、最も多くの人々が深刻なストレスの原因として感じているのは、グローバルと同じ「生活資金」で、その割合は22%となりました。「生活資金」は15-19歳を除くすべての年代でトップ原因となりました。中でも40歳代では28%と多くの人々が「生活資金」が深刻なストレス原因であるとしました。同年代は教育費への支出割合が最も高いとされており※、住居費や老後の貯蓄などを含め家計をどう切り盛りするか苦慮していることが伺える結果となりました。

「生活資金」に次いで多く挙げられたのは、「自分の健康」、「自分自身にかかるプレッシャー」、「やりたいことをする時間が取れないこと」でそれぞれ13%となりました。なお、15-19歳では25%が「やりたいことをする時間が取れないこと」が深刻なストレスの原因であると回答しており、これが同年代のトップの原因となりました。

※総務省「家計調査報告」／2014年平均速報

日々の生活における深刻なストレス原因

グローバルのTOP5



日本のTOP5



-- 調査概要 --

調査国： 世界22の国と地域（アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、中国、チェコ共和国、フランス、ドイツ、香港、イタリア、日本、メキシコ、オランダ、ポーランド、ロシア、韓国、スペイン、スウェーデン、トルコ、イギリス、アメリカ合衆国）
調査対象： 15歳以上の消費者27,000人
調査方法： インターネット調査
調査時期： 2015年夏

※本リリースに関するお問い合わせ先

GfK ジャパン 広報グループ
茶野 絢子

tel : 03-5350-4632 Email : info.jp@gfk.com